サミット株式会社
Corporate Profile 2026



サミット株式会社
〒168-8686 東京都杉並区永福3-57-14
電話 03-3318-5000(代表)
https://www.summitstore.co.jp

















サミットの想い

| 経営理念 |

嘘の無い仕事

サミットの生みの親は住友商事です。

この住友商事が属する住友グループには400年にわたって受け継がれてきた「住友の事業精神」があります。それは、「**信用を重んじ、いやしくも浮利を追わず**」と表現されています。サミットでは、これを小売業として分りやすく「企業を取り巻くすべての人々に対して『**嘘の無い仕事**』をすること」と置き換え、貫いてきました。

具体的には、すべての商品・サービスについて品質・日付・価格・販促などのごまかしをしない≪**正直な商売**≫。バイイング・パワーに物言わせるような強引な商売でなく、お取引先様と共栄する商いをする≪**誠実な対応**≫。社員が働く環境において差別や約束違反がなく、チャレンジすることが奨励され、努力と成果が報われる≪**公正な処遇**≫ということです。

そして、『**嘘の無い仕事**』をすべての活動領域において貫いてきたため、営業上の機密を除けば、すべてにおいて情報公開が可能となり、社内外に対し「**開かれた会社**」となっています。

| 事業ビジョン |

サミットが日本の スーパーマーケットを 楽しくする

| 当社の使命 |

生きる糧を 分かち合うお店

| ブランドスローガン |

いっしょにワクワク　生きるを楽しく！

| ブランドステートメント |

スーパーマーケットを超えていく。
これがサミットの思いです。

ただ買うだけでなく、
うれしい日も、悲しいときも
楽しい日も、ひとりのときも
サミットにくれば、
ほっとして、そしてワクワクできる。

いつもの声があって、笑顔がある。
家族のように寄り添うサービスがあって、
毎日のくらしが少しずつ楽しくなっていく。

「また、サミットに行こう！」と言っていただくために
私たちは、社員一丸となって、
当たり前と思えることにも誠実に
向き合ってまいります。

いっしょにワクワク、生きるを楽しく！

contents

02　サミットの想い
04　TOP MESSAGE
05　会社概要
06　出店マップ
08　サミットの魅力 1
　　地域に活力を届けるサミットのお店づくり
12　サミットの魅力 2
　　“毎日食べたくなる”商品の提案力
16　サミットの魅力 3
　　地域・社会・環境とともに育む姿勢
18　沿革
19　機構図

TOP MESSAGE

サミットはスーパーマーケットを営んでいます。
そのスーパーマーケットという存在は、暮らしの日常に必ずある、決して特別でもない当たり前のものだと思います。

でも、サミットは目指しています。
「普段の日常を少しでも楽しくワクワクさせてくれるスーパーマーケット」を。
「お店のある地域に住まわれている皆さんの、生きる元気の源となれるような存在」を。
そして、その目指し方は「1人の百歩ではなく100人の一歩」。つまり、一握りの社員の頑張りに頼るのではなく、多くの社員の個性を活かした一歩の総和で目指しています。

働く仲間を「従業員」と一括りにするのではなく、「固有名」で捉えることによって見えてくる個性や能力を、お店、会社、そして地域や社会をよりよくすることに活かしていく。一人ひとりの力は小さいかもしれないけれど、皆の小さな一歩を集めれば大きな力になる。そんな考えでお店を、そして会社を営んでいます。

その実現に最も大切なこと、それは働く社員がその一歩を踏み出そうと思う心持ちです。仕事は時に厳しく、辛いもの。でも、それと同じくらい「楽しさ」や「充実感」がある。まして、私たちの日々の「商い」は、世の中に必要とされている以上に、「面白さ」や「やり甲斐」があり、それが働く社員の背中を押してくれているように思います。

だからこそ、私たちは「スーパーマーケットの仕事は楽しい」ことを改めて世に伝えるとともに、その中でも「サミットの仕事は楽しい」と働く社員全員が言ってくれるような会社を目指しています。

それぞれのお店が、それぞれの地域で大樹のように大きく太く長く生き続け、愛される存在であり続ける。そして、「私、サミット大好きなんだ」と言ってくれる社員、お客様、そしてお取引先を一人でも増やしていく。
そんな毎日にチャレンジしています。

代表取締役社長
服部哲也



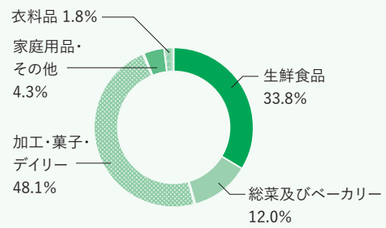




会社概要（2026年7月現在）

会社名	サミット株式会社（英文名：SUMMIT,INC.）
設　立	1963年7月29日
営業開始	1963年10月24日
資本金	39億2,000万円
本部所在地	〒168-8686 東京都杉並区永福3丁目57番14号 ☎ 03-3318-5000（大代表）
事業内容	スーパーマーケット・チェーン
決算期	3月31日
株　主	住友商事株式会社100%
主要取引金融機関	三井住友信託銀行株式会社 農林中央金庫
加盟団体	日本チェーンストア協会 オール日本スーパーマーケット協会 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会 東京商工会議所 他
ホームページアドレス	https://www.summitstore.co.jp

（2026年3月期）

売上高	358,768百万円
経常利益	9,585百万円
当期純利益	6,689百万円
部門別売上構成比	
売場面積	226,490㎡
店舗数	スーパーマーケット「サミットストア」125店 衣料品店「コルモピア」32店
従業員数	11,466人（正社員、パートタイマー※） 正社員3,516人、パートタイム社員7,950人 ※パートタイマーは、1日8時間、月20日換算による人数です

役　員

取締役会長
竹野 浩樹
（住友商事株式会社 常務執行役員
ライフスタイルグループCEO）

代表取締役社長
服部 哲也
（リテイルDX推進室・監査室・経営企画部・
広報・ブランド価値共創部分掌）

取締役常務執行役員
前田 昭夫
（総務部・経理部・情報システム部分掌）

岡田 崇
（MD本部長、コルモピア事業部分掌）

安達 晋一郎
（人事戦略本部長、店舗運営本部長、人事業務・企画部・
共育推進・人財採用部・多様人財サポート室分掌）

取締役
仁木 毅
（非常勤　住友商事株式会社）

山元 淳平
（非常勤　住友商事株式会社）

常任監査役
星野 郁夫

監査役
田原 晃太郎
（非常勤　住友商事株式会社）

執行役員
浦野 耕一
（サイト開発部・施設活性化部担当、サイト開発部マネジャー）

増川 洋介
（ブロック担当）

武田 哲志
（一般食品部・デイリー部・家庭用品部・グロサリー業務部・
物流部担当、物流統括責任者）

安田 大輔
（人事業務・企画部・共育推進・人財採用部・
多様人財サポート室担当、共育推進・人財採用部マネジャー）

望月 保光
（経理部マネジャー）

草木迫 伸彦
（お店の魅力向上支援部・青果部・鮮魚部・精肉部・総菜部・
ベーカリー部担当、大総菜プロジェクトリーダー）

加藤 豊
（総務部マネジャー）

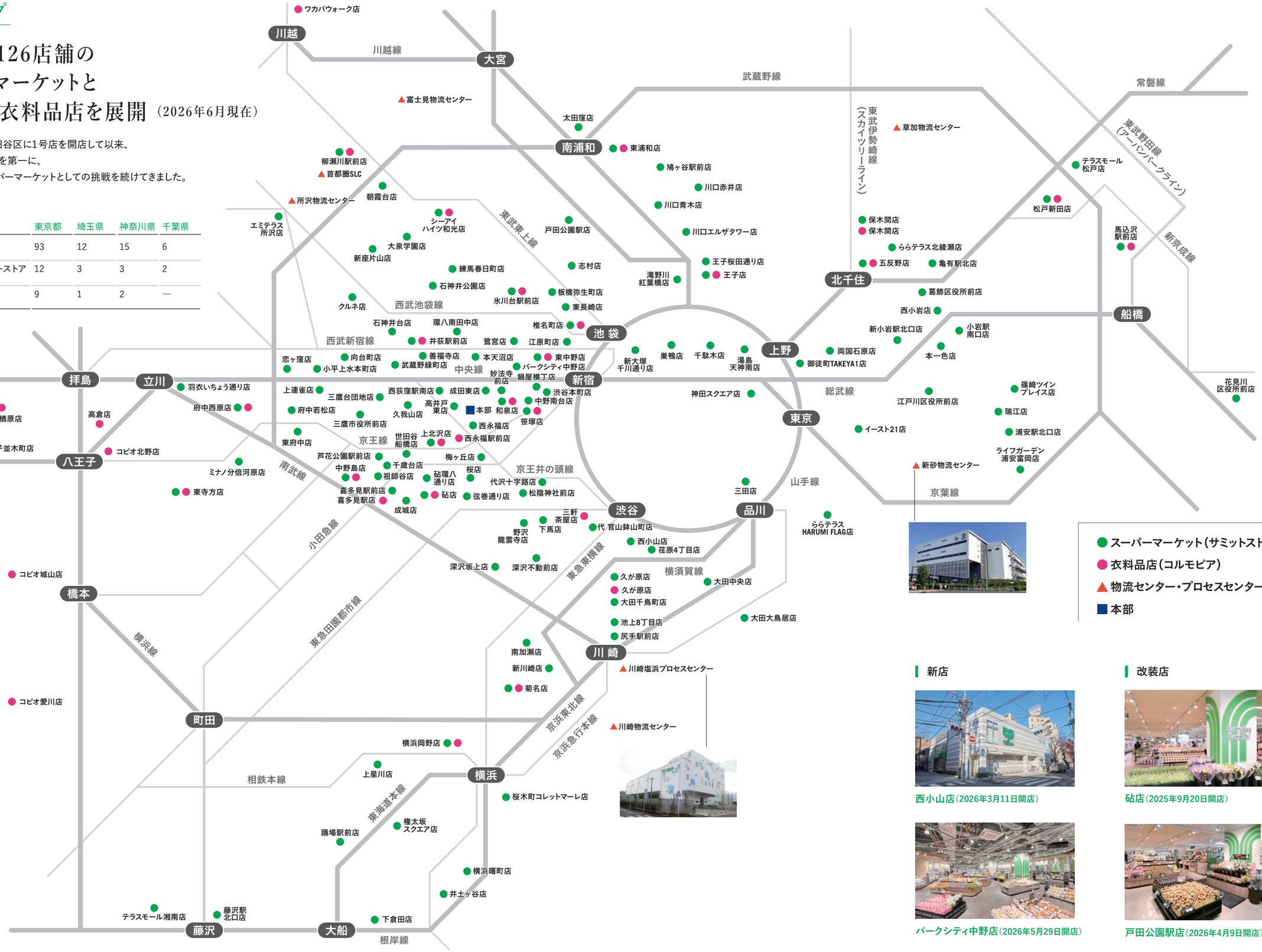
氷上 純二
（リテイルDX推進室・情報システム部担当、
リテイルDX推進室マネジャー）

出店マップ

首都圏に126店舗の スーパーマーケットと 32店舗の衣料品店を展開（2026年6月現在）

1963年に東京都世田谷区に1号店を開店して以来、
お客様との信頼関係を第一に、
地域に根差したスーパーマーケットとしての挑戦を続けてきました。

店舗展開		東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県
サミットストア		93	12	15	6
コルモピア	サミットストア併設店	12	3	3	2
	単独店	9	1	2	—



- スーパーマーケット（サミットストア）
- 衣料品店（コルモピア）
- 物流センター・プロセスセンター
- 本部

新店

西小山店（2026年3月11日開店）

パークシティ中野店（2026年5月29日開店）

改装店

砧店（2025年9月20日開店）

戸田公園駅店（2026年4月9日開店）







サミットの魅力 1

地域に活力を届ける
サミットのお店づくり

モノを売るだけじゃない、毎日に力を届ける存在へ

サミットは食材の販売にとどまらず、地域の皆さまの日常に豊かさをもたらす場所づくりを目指しています。
新しい食との出会い、人との触れ合いを通して、お客様の生活に“すてき”と“楽しく”を提供。ライブキッチンでの調理風景から充実の品揃えまで、各売場でお客様の目線に立った工夫を凝らし、毎日のお買い物をサポートします。

















お買い物に、安心感と楽しさを。
人の“顔”が見えるスーパーマーケット

サミットは、どれだけ時代が変わっても、
「人の顔が見えるスーパーマーケット」であることを大切にしています。
売場やレジでのお声かけ、子ども達との会話や地域との関わり——
そうした何気ないやりとりが、
お店を“また来たい場所”に変えていくと、私たちは信じています。
顔が見えるから、安心できる。
会話をするから、笑顔が生まれる。
そんな日常の積み重ねこそが強みであり、“サミットらしさ”です。



「人」の力で、お客様と地域の信頼を築く「案内係」

売場の案内はもちろん、商品・サービスの説明、「今日のおかずは何にしよう」などのご相談にも対応します。お買い物に不安がある方をサポートしたり、耳の不自由な方・外国人のお客様ともコミュニケーションボードを使ってお話ししたりするなど、皆さまに安心してお買い物いただけるよう努めています。



「いらっしゃいませ」ではなく「こんにちは」から始まる温かいコミュニケーション

案内係がお客様との会話の中で得たニーズやご意見は、毎日レポートに記録。店舗運営の向上や商品開発に生かしています。



試しながら気軽に話せるお客様とスタッフが笑顔でつながる



気軽に試し、会話が生まれる「おためし下さい」コーナー

味が分からないと手が出しづらい商品や、お客様からのリクエスト商品など、最大6アイテムを気軽に試せる有人の試食コーナー「おためし下さい」。特徴は、「買ってもらうため」ではなく、「まず味わっていただく」ことを大切にしている点です。スタッフは売り込みをせず、あくまで “お客様との会話”を大切にしながら、商品をご紹介します。「へぇ、これ意外とあっさりしてるね」「それ、私も思いました」——そんな何気ない対話から、お客様に新しい食との出会いを提供しています。

お客様から寄せられた声

- 今まで手に取ることがなかった商品だけど、試食したらとてもおいしかった。これからも隠れた名品を紹介してほしいです!
- このコーナーには、毎回寄っています。気に入るとしばらく買い続けちゃうんだよね。

おいしい食べ方を相談できる対面式の「おさかなキッチン」

鮮魚売場には、新鮮な魚をお客様のご要望に応じて加工する「おさかなキッチン」があります。スタッフと「今日のおかず、何にしよう?」「どうやって食べるのがおすすめ?」と会話ができる距離感だからこそ、できたての新鮮さ、頼れる安心感をお届けできます。





売場から声をかけて加工を頼める



店舗スタッフによる読み聞かせイベント



季節のおすすめ商品やサミットオリジナル商品の試食会



地域にひらかれた空間「サミCafe」

店内に設けた喫茶スペースで、購入した商品を飲食したり、ちょっと休憩したりと、お買い物の合間にホッとした時間を過ごせます。また、行政や地域団体と連携したイベントも積極的に実施。地域に暮らす人々のつながりが自然と生まれる“ひらかれた地域の交流拠点”として、スーパーマーケットという枠を超えた価値を生み出しています。







店舗スタッフが一品ずつ手に取って選ぶ、信頼のネットスーパー

お店の安心をご自宅にも——
サミットネットスーパー

リアル店舗と同じ品質・鮮度・品揃えを、
ご自宅にもお届けするサービスです。
ネット注文を受けて商品をピックアップするのは、
各店舗のスタッフ。
「家事や育児で忙しい」「重たい荷物が大変」
——そんな日々の暮らしに寄り添いながら、
お買い物のストレスを減らす新しい選択肢として、
多くのご家庭にご利用いただいています。









サミットの魅力 2　“毎日食べたくなる”商品の提案力

「つくる人の想いを、選ぶ人の毎日へ。」

サミットは、つくり手の想いを食卓に届け、お客様のライフスタイルやその日の気分に
寄り添うご提案をするため、こだわりある商品開発と売場の企画・演出をおこないます。





魅力ある商品を揃える調達力



売りたい商品は、足で探して、自分で選ぶこだわり抜くバイヤーたち

バイヤーは、自ら産地に足を運び、生産者やメーカーと対話し、その良さやこだわりを確かめます。「お客様がまた食べたい。サミットに買いに行きたい」と思うかどうかが判断の決め手です。価格だけではなく、使いやすさ、季節や地域性との相性も重視。こうして選んだ商品は、店内で手作りする総菜にも活用しています。









来たくなる理由をつくる商品開発力

部門を超えて、ひとつの“おいしい”をつくる。部門横断の商品開発

サミットでは、生鮮・総菜・ベーカリー・グロサリーの各部門が、
それぞれの専門的な知恵を出し合い、ひとつの商品をつくり上げていきます。
部門を超えた商品開発が自然に生まれるのは、
「いいものは、みんなで形にする」という文化が根づいているから。
組織としての強さと、現場で働く一人ひとりの創意工夫が重なり合って、
サミットらしい提案が生まれています。

牛すき焼き
精肉部門のアンガス黒牛を3種の醤油で上品に仕上げた一品。

舞茸の天ぷら
青果部門の舞茸に衣をつけて店内で揚げました。

だし巻玉子
デイリー部門の鮮度にこだわった卵を店内の鉄板で焼き上げました。

活〆ぶり西京焼
鮮魚部門で捌いた切りたてのぶりの切身を使用しました。

毎日の食卓に寄り添う、やさしい味のサミットオリジナル商品

「サミットオリジナル」とは、サミットだから買える味や規格に特徴のある商品のこと。
その中でも、食品添加物を極力使用しない商品に「素材をそのまま」と名づけ、
毎日食べても飽きない、家庭の味に近いやさしいおいしさに仕上げています。

サミットオリジナル

サミットオリジナル 素材をそのまま









食の楽しさを届ける企画力

商品が並んでいるだけじゃない
サミットの売場は「楽しい」！

バイヤーが発掘した各地の魅力を、食卓へと届けるために、定期的にご当地フェアを実施しています。沖縄・九州・四国や北海道・東北、韓国や台湾など、地域を変えて頻繁に行うため、楽しみにしてくださる方々が多い人気の企画です。食文化を紹介する各種フェアは、仕入れから演出、販売方法に至るまで、店舗・本部が一体となって準備を進めます。どんな食材を、どんな切り口で紹介すればお客様に喜ばれるか。サミットの腕の見せどころです。



五感で楽しむ催事が来店の楽しみに



「全国の味覚を楽しめる“おいしい旅”へご案内」







店内調理で叶える
できたての“おいしい”を、食卓へ。

サミットの総菜や半調理品は、その多くを店内で手づくりしています。
店舗の奥にある厨房で、スタッフが食材を仕込み、丁寧に調理。
家庭で調理したような、飽きのこないやさしい味わいに仕上げています。
できたてのおいしさと、顔の見える手仕事。それが、サミットの総菜が選ばれる理由です。




新鮮な野菜や売場で販売している食材を使って手作りする「フレッシュサラダ」は彩り豊か








種類豊富な半調理品は、ご家庭での調理のしやすさに配慮しています




精肉売場で人気のローストビーフを、店内調理でお寿司やサンドイッチにして即食商品に

仕入れて終わらない。
“届ける”ところまで責任を持つ

サミットの強みは、調達、販促企画、売場づくりが
ひとつながりになっていること。
それぞれの現場が連携しながら、
「どこから仕入れるか」だけでなく、「どう届けるか」まで考え抜きます。
商品の魅力や生産者の努力、各地の異なる食文化を知ってほしい、
毎日の食卓を楽しく豊かにしたいという想いが、
バイヤーからお店に引き継がれ、お客様にも届きます。



買いたくなる売場の工夫

お買い物の背中を押してくれる
店舗スタッフお手製の「コトPOP」

売場では、商品を試したスタッフの実感こもる感想が「商品の価値」としてストレートにコトPOPに表現され、お客様の「私も食べてみたい！」「使ってみたい！」という背中をそっと押します。





実際に試したスタッフの言葉で「価値」がつづられています







サミットの魅力 3

地域・社会・環境とともに育む姿勢

まちとともに育てる、あしたの暮らし。





持続可能な社会を目指し、社会・環境課題への取り組み方針「GO GREENチャレンジ宣言」を掲げて取り組んでいます。食べること、学ぶこと、守ること。サミットは地域とともに、未来につながる日常を育んでいます。

GO GREEN

GO GREENチャレンジ宣言とは

「GO GREEN」チャレンジ宣言は、SDGsを踏まえ、サミットが取り組む社会課題をまとめたものです。事業ビジョンの実現に向け、社員一人ひとりが、お客様・地域社会・お取引先様と連携しながら行動し、社会の変化に合わせて取り組みを進化させていきます。

1. 「食と健康」を軸とした健康長寿社会への貢献
2. 地域コミュニティとの共生
3. 「2050年までにCO_2排出量実質ゼロ」へ
4. 地球にやさしい調達・利用の推進
5. 誰もが生き生きと働ける環境の実現

社会への貢献

買い物の場所から、学びとつながりが生まれる場所へ。

サミットは、地域の暮らしに寄り添うスーパーマーケットとして、
地域の方々と育み合う関係を大切にしています。
子どもたちが店内を見学したり、自分で買い物を体験したりする機会を通じ、
仕事の面白さや“考えて選ぶ力”を育むお手伝いを。
土にふれて野菜を収穫する体験では、食と命のつながりを実感する機会を。
応援し応援される関係が、お店と地域の絆を深めています。



年間500校以上の2.5万人を超える児童・生徒の皆さんの店舗見学や職場体験学習を受け入れています。



メーカー様の施設見学とレジャー地訪問を組み合わせた夏休みの恒例企画「ルンルン！仲良く夏休みツアー」。毎年約20コースに約300組のお客様親子をご招待。



「スフィーダ世田谷FC」のメインスポンサーとして地域の皆さまとともに応援しています。



お子様のはじめての体験を応援する店内企画「はじめての○○シリーズ」。スタッフとお客様、お店全体でがんばる子ども達を見守ります。



山梨県丹波山村の耕作放棄地をお借りし、地元の農業法人に協力してもらい管理している「サミットファーム」。社員向け研修、お客様向けの収穫体験ツアーも実施しています。



対象商品1点につき1円が、deleteCを通じてがん治療研究に寄付される取り組みです。日々の買い物がお客様とともに行う貢献活動につながります。

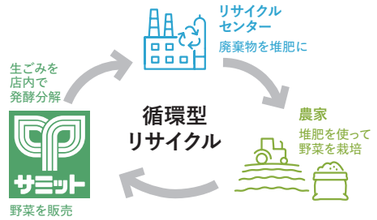
環境に配慮して

お客様と一緒に、やさしい未来をつくる。

日々のお買い物の中で、自然と“環境にいい選択”ができるお店を目指しています。
例えば、店頭に設置したリサイクルボックスや、食品ロスを減らすため早めに販売する工夫やレシピの提供。
どれも、お客様の一つひとつの選択が、地球にやさしい未来へつながるように設計しています。
「お客様とともに考え、行動できるスーパーマーケット」へ。
地域とともに、あしたの食卓と地球の未来を考えていきます。



賞味・消費期限間近の食品に「もぐにぃシール」を貼り、優先購入を促進する「もぐもぐチャレンジ」。10枚シールがたまると、開発途上国への寄付やゲームへの参加ができます。食品ロス削減の習慣づくりを応援しています。



一部店舗に堆肥製造機を設置。店舗で発生する生ごみをもとにした堆肥で、野菜を育て、販売する「循環型リサイクル」の仕組みを構築しています。



店頭で食品トレー、紙パック、アルミ缶、ペットボトル、ペットボトルキャップを回収しリサイクル。お客様のご協力により、年間1,900トン以上の資源が集まります。

沿革

食を通じて地域とつながる60年 ― サミット株式会社の発展

年	月	沿革
1963年	7月	● 住友商事㈱が米国セーフウェイ社の指導により、㈱京浜商会（サミットの前身）を設立
	10月	● 世田谷区野沢に1号店を開店
1964年	10月	● 米国セーフウェイ社との契約を解消
1967年	4月	● 社名を㈱サミットストアに改称
1976年	10月	● CIS（コーポレート・アイデンティティ・システム）を導入
1977年	3月	● 本格的な食料品、衣料品売場を備えた五反野店を開店
	10月	● 労働組合「S.L.U.」（サミット・レイバー・ユニオン）が発足
1978年	10月	● 消費者モニター制度を開始
1981年	1月	● 第1回新商品ベスト10（現在の新商品人気コンクール）を実施
1983年	8月	● 第1回ママとルンルン夏休みツアー（現在の「ルンルン仲良く！夏休みツアー」）を実施
1984年	8月	● L.S.P.（レイバー・スケジューリング・プログラム）を導入
1988年	8月	● 社名をサミット㈱に改称し、多角化の方針を打ち出す
1989年	3月	● ㈱サミット・ジーエムエスを設立
1990年	12月	● 全店にPOSシステム導入を完了
1992年	3月	● 新本部ビル竣工により現在地に移転
	10月	● 瑞江店に初めてインストアベーカリー「ダン・ブラウン」を開店
1993年	12月	● スーパーマーケット、ベーカリー、書店、衣料店の全事業が結集した王子店を開店
1995年	9月	● 戸田駅店で、初の深夜営業（24:30閉店）を開始
1996年	2月	● 伊丹十三監督、映画「スーパーの女」の製作に全面的に協力する（'96年6月全国公開）
1999年	3月	● 野沢店でポイントカードを導入
2000年	4月	● ㈱サミット・ジーエムエスの社名を㈱サミット・コルモに改称
2011年	10月	● お客様が商品を試食できるコーナー「おためし下さい」を初めて設置
2014年	3月	● 厚生労働大臣より、次世代育成支援対策推進法に基づき、「子育てサポート企業」として認定される（くるみん認定）
	8月	● 沖縄県とサミット㈱の「ゆいまーる協定」を締結
2015年	3月	● 東中野店に専任の「案内係」を配置
	5月	● 山梨県丹波山村に自社農場（サミットファーム）を開設
2016年	12月	● パートタイム社員の定年引き上げを実施
2017年	2月	● セルフ精算レジを導入
	3月	● 王子桜田通り店でイートインスペース「サミCafe」を導入
	8月	● 日本女子サッカー「なでしこリーグ」2部所属「スフィーダ世田谷FC」とのスポンサー契約を締結
2020年	6月	● セルフレジを導入
	7月	● レジ袋有料化に伴いバイオマス原料配合レジ袋を導入
2021年	1月	● 正月三が日を休業（1988年以来33年ぶり）
	4月	● ㈱サミット・コルモと経営統合
	7月	● 「GO GREEN」チャレンジ宣言を制定
2022年	10月	● 生鮮物流の集約、店舗で行う商品化作業の一部を補う、新砂物流センターを開設
		● サミットネットスーパーを開始
2023年	3月	● 持続可能な食品物流構築に向け、首都圏SM物流研究会を発足 （株式会社マルエツ・株式会社ヤオコー・株式会社ライフコーポレーション・サミット株式会社の4社にて。後に加入社拡大）
	6月	● ポイントカードに自社電子マネー機能を追加した「サミットカード」を導入
2024年	5月	● 身だしなみ基準を緩和
2025年	4月	● 正社員の定年引き上げを実施
		● POS/ID-POSデータの有償提供サービス「エル・みえ～る」の運用を開始
2026年	4月	● ブランドスローガン・ブランドステートメントを発表

機構図

サミットの組織体制

お客様の豊かな食生活を支えるため、サミットでは各部門が一丸となって取り組んでいます。
私たちの組織体制をご紹介いたします。

